

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスen東戸塚		
○保護者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年 4月 1日		～ 令和7年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペース・空間が広い。	スペースは十分に運動に関わる活動ができ、粗大運動がしやすい環境づくり。	さらに状況、状態、障害特性に応じた環境設定(視覚支援を意識したスペース作り等)をする事で、さらに充実した活動・支援が提供できる。
2	業務改善にあたるコミュニケーションがとれている。	ミーティング、ランチミーティング、会議などの時間を設け、業務改善が図れるシステムがある。	理解度の向上と、密な情報共有を図る上で、個別のニーズ、支援が深く知っていただけるように、ミーティング・会議の内容の質を上げていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	関係機関、保護者との連携について、不透明な点がある。	施設職員に関しては、関係機関、保護者とのやり取りが把握できていない面がある為、周知に課題である。 保護者に向けては、様々な面でどのような対策、対応をしているのか分からない面がある。	自立支援協議会の参画状況、保護者との話し合った内容を従業員に周知ができるように努める。 保護者には非常時の対策・対応・施設での取組み内容(保護者交流会・勉強会等)をHP及び、配布し、周知できるように努める。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービスen東戸塚

公表日 令和7年3月12日

利用児童

数 28

回収数 20

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20				広い。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	3			遊びが逸脱となっている報告があり、人手が足りているのかと思った。	指導員の支援計画、見守りの方法の共通認識が徹底できていない事が原因である為、支援の質向上を目指す。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1			クールダウンや座って活動する場の理解は出来ていそう。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19			1	広いので邪魔させる事もないかと思う。	
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	1			面談時にも聴き取りをしていただけるとのことでされていると思う。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1			子どもの機嫌等でできない時もあると思う。	児童の特性、発達段階の共有が出来ていない面がある為、ご家族に説明、助言に努める。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18				色々なことをさせていただけていると思う。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	11	4	2	公園などで一般のお子様との交流はあるかもしれないのですが、実態は見えていない為、分かりません。	ご家族、児童がどのような事を望んでいるのか、どのようなイメージがあるのか不明な事、また、事業所がどのように啓発的な機会が作れているのか不透明な事がある為、説明をし改善を図っていく。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	1			利用を追加時に回数をきいていただき助かった。長期休みの終了時間について納得しているのですが、理由が分かっています。	報酬改定による利用者負担額等に係る点が十分な説明が行き届いていない状態であった為、改めて説明を行っていく。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19			1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	2			定期的に話す機会があり、助かる。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1			きょうだい児同士の交流などの機会は今のところない。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	7	1	3		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	4			ご迷惑をおかけしていると思う。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1		1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2		2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	3			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1			毎回「たのしかった」と伝えてくれる。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				家で出来ない事をたくさんしていただいて助かる。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				支援員さんみんな優しく対応していただき、感謝している。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスen東戸塚		令和7年3月12日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		見渡しよく安全な作りになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		静養室が確保されている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	まだ評価表を見る機会はない。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		常に職員同士、情報共有もあり会議やランチミーティング等がある。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	見た事がない為、未記入。把握できていない。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	受講可能な研修等の情報共有などであると尚よい。把握できていない。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		子どもの行動を観察したり、保護者からも直接話を聞く機会がある。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		その日、利用児童の支援計画が見やすくボードに貼りだしてある。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		支援内容の捉え方の確認は都度必要と感じる。観察したり、その見解を共有してくれる場面がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		室内活動では児童がより楽しめるよう、準備をしながら意見交換している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		室内・外出など分かれて活動する事が多く、内容場所も様々ある。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	勤務体制の関係で必ず難しい日もあるが、同じ活動を行うメンバー間では車内や施設内で情報共有をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	打ち合わせとしての時間はもていないが、職員間でその日のことを振り返りながらのコミュニケーションをしている。勤務体制の関係上、難しい日もあるが、支援終了後は別活動をしてきた職員と情報共有をすることが多い。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		4つの基本活動を把握できていない。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		パート職員も集まり、会議する場がある。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	2	児童の特性があり、地域交流などはあまり行っていないと思う。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		見た事がない為、未記入。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		把握できておらず、分かりません。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		見た事がない為、未記入。 把握できておらず、分かりません。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		見た事がない為、未記入。 入社後まだその場面に直面していない為、情報不足で解答が難しい。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		見た事がない為、未記入 入社後まだその場面に直面していない為、情報不足で解答が難しい。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	児童の特性があり、地域交流などはあまり行っていないと思う。	ニーズの捉え方、活動・支援内容の目的理解が疎らな為、目的理解が向上できるように努める。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		見た事がない為、未記入。 把握できていません。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時などを利用し、伝え合う時間をとっている。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		時間をとり、直接話を聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		電話などでも相談に応じている姿をみかける。	
40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	2			

説明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		陣族にミーティングや黒板で共有している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	3	見た事がない為、未記入。 児童の特性を尊重し、今は難しい現状だと思う。	二一ズの捉え方、活動・支援内容の目的理解が疎らな為、目的理解が向上できるよう努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		勉強会に参加している職員方がいる。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	3	指示書に関しては分りませんが、アレルギーの共有や掲示などで徹底している。	就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1		就業期間、役割によって情報把握の度合いに違いがある為、改めて説明を行っていく。	